

# 岩崎酒店 糰屋便り

2015年2月号  
NO.4

発行者：岩崎酒店 川崎市高津区溝口 3-11-15 TEL：044-822-2027 営業時間：10～20時  
定休日：毎週火、毎月第2・3月曜 <http://www.mmjp.or.jp/kouji-ya/>

年が明けてあっという間に1ヶ月が経ちました。皆様今年も宜しくお願ひします。それにしても、どうしてこんなにも時間が経つのが早いのかと考えさせられます。考える事が多すぎて、余裕が無いのでしょうか。さて今回は、私が昔から好きな大相撲について最近思うところをお話しさせていただきます。

今年の初場所も終わってみれば白鵬の強さが際立つ結果になりました。昨年までと比べれば初場所はややあたふたする相撲もあった印象ですが、ギアをあげた時の白鵬の強さには他の横綱でさえも歯が立たない程の力の差を感じます。精神力や頭脳明晰は言うに及ばず、体の柔らかさや丈夫さ、スピード、どんな状況にも瞬時に反応できる運動神経は他の競技のトップアスリートを凌駕するほどで、特に現役日本人力士で対抗できる人は見当たりません。

日本人力士の最後の幕内優勝から約8年、日本人の横綱が土俵からいなくなって約12年と非常事態が続いていますが、この状況にまだまだ終わりは見えません。最近では運動神経のいい優秀な若者は他の人気スポーツに取られ、入門時の身体検査の映像をテレビで見ると、既に平幕力士並の体重の若者が目立ちます。最初から肥満体質の力士がまず大成するケースは多くないでしょうし、選手寿命も長くないでしょう。白鵬も入門当時はものすごく細い体でしたし、貴乃花なども筋肉とのバランスがとれたいい体でした。今後はぜひ若者の将来性をしっかり見てスカウトしてもらいたいですね。

近年の大相撲は国技とは名ばかりで、まるでモンゴル相撲かのようなようです。よく言われるように豊かになった日本社会の変化や若者の生活スタイルの変化などの原因はあるでしょう。しかし本当の理由は相撲に魅力と現実的な夢を見いだせないからだと思ひます。優秀な若者が集まるように、若者がワクワク

しながら入門し、どんな人でも練習や競技に集中でき、精一杯相撲道に努めた力士には現役を退いても努力すれば安定した生活が待っている、そのぐらい大相撲の価値を高めなくてはなりません。また当然ですが、古い人間の価値観や時代遅れの考え方は改めなくてはならないでしょう。もちろん社会人としての基本や伝統を継承するための知識や技術の取得、厳しい稽古を積む事などは不変的なものだと思いますが、ですから早く大相撲を時代に変化に対応できるある意味ファッショナブルな組織に改革しなくてはいけないと思ひます。最近の不祥事を見れば、大相撲の世界がいかにも旧態依然とした古くさい閉鎖的な組織かわかります。変えようとしている若い親方をぜひ応援したいと思ひます。

それにしてもなぜ日本という国はこれだけ日本らしさをアピールできる伝統文化・工芸や国技がありながら、それが国内や世界に与える効果をもっともっと評価し、支援をしないのでしょうか？日本の文化スポーツ予算は他の主要国と比較しても極めて低い状況のようです。決まりきった借金を増やすだけの景気対策を打ったり、既得権を守る為に将来性のない事業や組織にお金をバラまいたりするよりも、現在や未来のそれらに投資して国内や世界で存分に活躍してもらおう方が誰もが納得するはずで、スポーツであれば多くの国民が高揚し明日への活力とやる気が湧いて、国を明るくし、若者に希望を与え数字では計る事の出来ない大きな効果をもたらしてくれるはずで、

後継者不足の伝統工芸であれば継承する担い手を生み出す事になるでしょう。そして地方それぞれの豊かな風土を活かした文化が盛り上がり、雇用が生まれ、やがて第一次産業に波及し、好循環が生まれ、地方再興につながるのでは、そう考へます。日本の国技、大相撲から考へ直してみたいものです。

